

【3つの共同目標】

- ① 日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします
- ② 日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします
- ③ 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします

革新・愛知の会

第280号 2018年9月10日

平和・民主・革新の日本をめざす愛知の会

〒456-0006
名古屋市熱田区沢下町9-7労働会館東館306
Tel.(052)872-6918 FAX.(052)872-6919
Eメール kakushin-aichi@roren.net
http://www.kakushin-aichi.jp/

インタビュー

政治を変えるために、5割の無党派層に広く打って出る



(三重大学内で撮影)

もりはら やすひと
森原 康仁 さん

1979年生まれ。三重大学准教授。京都大学博士(経済学)。著書に『アメリカIT産業のサービス化』(日本経済評論社)、『図説 経済の論点』(共編著、旬報社)など。市民連合みえの事務局を務める。

3000万署名をどう取り組むのか
「安倍内閣の下での憲法改正は必要ない」(二面へ)

有権者の政治不信に支えられている安倍政権

「市民と野党の共闘」の発展の可能性

国政レベルの市民および野党の共闘・協力がはじまって3年経ちます。私は、2度の国政選挙(2017年参院選、2018年総選挙)ではつきりしたことは、「野党が一致点を明確にして選挙に臨めば、ふだん政治に関心を持っていない人の政治意識を喚起できる」ということだと思っています。

いずれの選挙でも共闘が成立した選挙区では投票率が上がりました。また、無党派層

の政党支持率は30%前後でいいのです。安倍首相にとっては「幸い」なことに、自民党の政党支持率は30%前後で点化することができれば、大きく政治は変わります。こうした一致点で市民および野党が共闘・協力して、くることがあたらしい政治をつくりまします。

脱原発のように圧倒的多数の民意が望んでいるが、いまだに実現していない問題を争点化することができれば、

市民連合みえの事務局で活躍された森原康仁さん。市民と野党の共闘の今後の可能性、秋に向かっているたたかい、運動をすすめるうえで確信と展望などを語っていただきました。
*今回のインタビューは初めての試みでメールでのインタビューとなりました。

平民の暮らし

8月に子どもが生まれた。子どもを産むと与党議員が「生産性がある」と認めてくれるらしい

▼しかし、おちおちしていられない「子は3人以上」と言われてしまふからである。生産性とは「あるモノをつくるにあたり、生産諸要素がどれだけ効果的に使われたか」ということ。▼与党議員には、カッパルが生産諸要素で子どもが生産物に見えているらしい。LGBTだけなく全ての人間を馬鹿にしている。こんな人たちが議員をやっている良い国になるわけがない▼受験競争で苦しみ、高い学費で苦しみ、ブラック企業で苦しんで、子どもを産まない馬鹿にされてしまふ▼そろそろ、憲法の意味を理解する政権を作らなければならぬ。

古川大暁(革新・愛知の会代表世話人/民青愛知県委員会委員長)

わが街の革新懇

中西八郎
南区革新の会



隔月掲載です。

今、中心的に取り組んでいるのは3000万署名です。十数名の呼びかけ人を中心に「安倍改憲NOー南又民アクション」を立ち上げ「署名推進会議」を毎月開き意見交流と行動を重ねてきました。特に秋の臨時国会に憲法改悪発議が行われるのを何としても阻止しようと9月22日に「ア・スタート大集会」を開きます。どうやれば目標3万筆が達成できるか、高い壁だと思いますがチャレンジ

た団体も生まれています。南区はかつて中小企業が多く活発な生産活動をしていましたが、その多くが郊外に移転したり廃業したりして人口も急速に減少しています。高齢化率も市内で最高。生活保護率も同様です。若者の離職率も高いとも言われております。生きづら

改憲発議 なんとか阻止を! 無党派の方々と連帯で

この間で一つ特筆すべき活動を挙げれば、昨年の総選挙で「野党は共闘市民アクション愛知4区」を4区内の革新懇と共に市民団体に呼びかけ立ち上げたことです。紆余曲折の結果、共産党候補を会推薦候補とし闘い大きな成果をあげました。今月一回会議を開き4区での「市民と野党の共闘」の熱心な模索が続いています。

当会は派手さはあまりないですが地道な活動を続けています。当初は「南区革新の会って何?」と言われていましたが、今や南区に無くてはならない存在だと自負しています。

課題は無党派の方々と連帯です。そのためには共通する要求での連帯した闘いが必要です。英知を集め、運動を広げ必ずや成功させたいと粘り強く活動しています。

あいち沖繩会議が呼びかけ 沖縄県民大会に連帯!



8月11日、栄で沖縄県民大会に連帯して集会とデモが行われました。



8月8日に亡くなった翁長県知事の遺影とともに、新たな決意で参加者は、「止めよう! 辺野古・高江新基地! やめさせよう! 安倍政権」とデモ行進を行い道行く人々に訴えました。



講演と文化の夕べ 前川喜平さん来る!

とき:10月30日(火)
所: 日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール

国家権力の私物化! 見過ごせなかった私の信条
—モリカケ・教育・憲法—

前川喜平 さん

10月30日(火) 18時開演

日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール

1000円 学生500円

申し込みは 革新・愛知の会へ

連続憲法講座 いまこそ憲法

次回 第5回 9/22 憲法問題と日本経済の再生—アベノミクスは「アホノミクス」?—夏目啓二(愛知東邦大学)

第6回 10/6 平和学・軍事力によらない平和の構築・佐々木寛(新潟国際情報大学)